

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 045-671-3032
FAX 045-641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

横浜市 カジノ誘致

市長の判断だけで決めるのは絶対認められません!

団長声明を発表

8月19日、「横浜市 IR誘致へ『白紙』一転、反発必至」「カジノ 横浜が誘致へ」と題する記事が、神奈川新聞と読売新聞に掲載されました。

記事の内容は、横浜市がカジノを含む統合型リゾートIRを誘致する方針を固め林文子市長が近く表明すること、また目前の市会第3回定例会に専門部署を新設するための補正予算案が提出されるというものです。この新聞記事の真偽について、市の担当部局に確認したところ、おおむね認めています。一度も市民にカジノ誘致の是非を問うことなく今までのカジノ誘致についての「白紙」状況から、カジノ誘致推進に舵を切り替えることとなります。19日、党市議団として強く抗議する声明を発表しました。

民意問うと言いながら、機会つくらず…あまりに乱暴

林市長は2018年12月11日の本会議で白紙から態度を決める前にどのように民意を問うのかとのわが党の質問に対し「(IR整備法上の)公聴会ではなくて、その前に横浜市としては市民の皆様からご意見を伺う機会や具体的な方法について検討している」と答弁されています。今回の態度決定は議会無視でもあります。

市長選でカジノ白紙を掲げて当選した林文子市長

私たちが何よりも納得できないのは、市民から繰り返しカジノ誘致反対の声が出されていることを一顧だにせず、突如態度を決めたことです。もともと市長は2017年の市長選ではカジノ誘致反対の市民意見が多いことを承知して「カジノ誘



誘致先として名指された山下ふ頭(中区)

致については白紙だ」と表明して当選を果たされました。他にも中期4か年計画のパブリックコメントを見ても、市民の反対意見が根強いことは明らかです。

6月に行われたカジノ事業者の事業構想案をまとめた報告書の市民説明会(4か所)の中で出された意見も反対一色で、その際行われたアンケートでも説明会の前後でほぼ変わらず、「治安が悪くなる」などと心配の声が多く出されています。

市長は7月24日の定例記者会見では、IRに関する補正予算を9月市会に提出する考えがないと表明していました。このようななかで、突如今回カジノ誘致の意見表明をするということには、市民への説明責任も放棄したものです。

カジノ反対のすべての団体・個人と連帯し誘致阻止へ全力尽くします

山下ふ頭のカジノ立地に反対している横浜港運協会は、ふ頭内にある会員企業が移転することはありませんとコメントしています。

党市議団は、横浜へのカジノ誘致に反対するすべての団体・個人の皆さんと連帯して、カジノ誘致反対に全力を示す決意を表明します。